

決 済 動 向 (○年○月)

	頁
I. 日本銀行における決済関連計数	
1. 日銀当座預金決済	
1-1 日銀当座預金決済 .....	1
1-2 業態別日銀当座預金決済 .....	1
1-3 付記電文付振替 .....	2
1-4 日中当座貸越残高 .....	2
2. 日銀ネット利用先数 .....	2
3. 国債振決口座振替・移転登録決済	
3-1 国債振決口座振替・移転登録決済 .....	3
3-2 国債DVP(時間帯毎決済進捗) .....	4
II. 民間決済システム関連計数	
1. 手形交換高(東京) .....	5
2. 全銀システム取扱高 .....	5
3. 外為円決済交換高 .....	6
4. 東京金融先物 .....	6
5. 日本国債清算機関 .....	7
5-1 国債取引の清算	
5-2 日銀当座預金決済	
6. 日本証券クリアリング機構 .....	8
6-1 取引所取引DVP決済	
6-2 日銀当座預金決済	
7. ほふりクリアリング .....	9
7-1 株式等の一般振替DVP決済	
7-2 日銀当座預金決済	
8. 証券保管振替機構	
8-1 短期社債決済 .....	10
8-2 一般債決済 .....	11
8-3 投資信託決済 .....	12
III. その他	
1. S W I F T .....	13

本資料は、わが国における「決済」活動を把握するために必要な主要指標を編集・掲載したもの。  
統計作成機関名の表示のない指標は日本銀行調べ。なお、資料に関するお問い合わせは以下までお寄せ下さい。

I. 日本銀行における決済関連計数

1. 日銀当座預金決済

1-1 日銀当座預金決済（片道ベース、1営業日平均）

—— 件、兆円、括弧内は前年比%

	件数	金額	当預振替等			集中決済		その他
			コール取引等	国債DVP	外為円取引	手形交換	全銀システム	
年	( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( )						
月	( ) ( )	( ) ( )						

- 注1) 日銀当座預金決済とは、日本銀行取引先である金融機関等間の資金取引等に伴う日本銀行の当座預金における資金移動を指し、本統計ではこれを①取引先間の当座預金振替等（コール取引等、国債DVP〈国債資金同時受渡〉および外為円取引にかかる資金の決済）と、②民間の集中決済制度（手形交換、全銀システム〈内国為替決済〉）にかかる資金の決済および③その他（日本銀行と取引先の間のおペや銀行券の受払等）の3つに分類。
- 注2) 日銀当座預金決済の件数・金額は、実際の資金移動に対応する決済指図の件数・金額を「片道ベース」の計数（振替であれば、入金または引落のいずれか）として集計。「片道ベース」の基本的な考え方については、以下の計表においても同様。
- 注3) 外為円取引（外国為替円決済制度を通じて決済される取引〈外国為替の売買や円建送金等〉）は、2008年10月10日までは主にネット決済方式により処理されていたが、同月14日以降は決済方法が変更され、全ての取引が即時グロス決済方式により処理されている。

1-2 業態別日銀当座預金決済  
（片道ベース、1営業日平均）

—— 件、億円、%

	件数		金額	
		シェア		シェア
都銀				
地銀				
地銀Ⅱ				
信託				
外銀				
信金				
短資				
証券				
その他				
とも合計				

- 注) 「地銀Ⅱ」は第二地方銀行協会加盟の地方銀行、「証券」は金融商品取引法上の有価証券関連業を行う第一種金融商品取引業者（以下の計表についても同様）。

1-3 付記電文付振替（片道ベース、1営業日平均）

—— 件、億円、括弧内は前年比%

	件 数	金 額	1 件当り 金額
年	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
月	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	
	( )	( )	

注) 付記電文付振替は、日銀ネット利用先（仕向行）が振替依頼を行う際に、顧客に関する情報を入金情報として振替金受取人（被仕向行）に伝達することを可能とした当座預金振替。

1-4 日中当座貸越残高

—— 兆円、括弧内は前年比%

	日中ピーク残高 の月中平均値
年	( )
	( )
	( )
月	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
	( )

注1) 日中ピーク残高の月中平均値は、当該月中各営業日の日中10分毎に算出した当座貸越残高のうち、最高額（日中ピーク残高）の月中平均値を指す。

注2) 国債DVP同時担保受払機能を用いた当座貸越を含むベース。

2. 日銀ネット利用先数

—— 先

	都 銀	地 銀	地銀Ⅱ	信 託	外 銀	信 金	証 券	生損保	その他*	合 計
利用先数										
当座預金										
外 為 円										
国 債										

注) 利用先数は、当座預金、外為円、国債のいずれかの事務で日銀ネットを利用している先の数（法人ベース、月末現在）。

\* 組合中央機関、証券金融会社、金融商品取引清算機関、短資会社等。

### 3. 国債振決口座振替・移転登録決済

3-1 国債振決口座振替・移転登録決済（額面、片道ベース、1営業日平均）  
（件数）

—— 件、括弧内は前年比%

	振決口座振替・移転登録決済		
	振替件数	うちDVP	うち同時担保受払
年	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )

（金額）

—— 億円、括弧内は前年比%

	振決口座振替・移転登録決済		
	振替金額	うちDVP	うち同時担保受払
年	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
月	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )
	( )	( )	( )

注1) 振決口座振替とは、日本銀行にある国債振替決済制度の振替口座簿における口座振替を指し、移転登録とは、国債登録簿における登録記名者の変更のことを指す。同時担保受払とは、日本銀行が提供する国債DVP同時担保受払機能を用いた口座振替を指す。

注2) 振決口座振替および移転登録それぞれの計数は、日本銀行ホームページより入手可能 ([http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/set/paysys\\_etc/index.htm](http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/set/paysys_etc/index.htm))。

3-2 国債DVP（時間帯毎決済進捗）

(件数) —— %、件

	～10時	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～業務終了	合計 (1営業日平均)
年									
月									

(金額) —— %、億円

	～10時	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～業務終了	合計 (1営業日平均)
年									
月									

注) 国債振込口座振替・移転登録決済のうちDVP決済のみの計数（額面、片道ベース）。

II. 民間決済システム関連計数

1. 手形交換高（東京手形交換所のみ、片道ベース）

→ 日銀当座預金における  
決済状況  
—— 千枚、億円、括弧内は前年比%

	交換枚数 (1営業日平均)	交換金額 (1営業日平均)	1枚当り 金額 (千 円)	ピーク日 交換枚数	ピーク日 交換金額	決済金額 (1営業日平均)	個別行ネット 決済額ピーク	
							最大 受超額	最大 払超額
年	( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( )				( ) ( ) ( )		
月	( ) ( )	( ) ( )				( ) ( )		

注1) 東京銀行協会調べ。1枚当り金額は日本銀行が算出。

注2) 「日銀当座預金における決済状況」の計数は日本銀行調べ。また、個別行ネット決済額ピークとは、月中（あるいは年中）各営業日の個別行の受超額または払超額の最大値（以下の計表についても同様）。

2. 全銀システム取扱高（片道ベース）

→ 日銀当座預金における  
決済状況  
—— 千件、億円、括弧内は前年比%

	取扱件数 (1営業日平均)	取扱金額 (1営業日平均)	1件当り 金額 (千 円)	ピーク日 取扱件数	ピーク日 取扱金額	決済金額 (1営業日平均)	個別行ネット 決済額ピーク	
							最大 受超額	最大 払超額
年	( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( )				( ) ( ) ( )		
月	( ) ( )	( ) ( )				( ) ( )		

注1) 全国銀行協会調べ。

注2) 取扱件数・金額、1件当り金額は発信日基準、ピーク日取扱件数・金額は決済日基準。

### 3. 外為円決済交換高（片道ベース）

—— 件、億円、括弧内は前年比%

	交換件数 (1営業日平均)	交換金額 (1営業日平均)	1件当り 金額	ピーク日 交換金額
年	( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( )		
月	( ) ( )	( ) ( )		

注1) 東京銀行協会調べ。

注2) 外国為替円決済制度を通じて決済される取引（外国為替の売買や円建送金等）は、2008年10月10日までは主にネット決済方式により処理されていたが、同月14日以降は決済方法が変更され、全ての取引が即時グロス決済方式により処理されている。その結果、同日以降、交換金額と同額が日銀当座預金において決済されている（2008年10月以前の日銀当座預金における決済金額等は、過去の決済動向をご覧下さい〈<http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/set/kess/index.htm>〉）。

### 4. 東京金融先物（片道ベース）

日銀当座預金における  
決済状況

—— 千枚、百万円、括弧内は前年比%

	取引数量 (1営業日平均)	建玉数量 (月末時)	ピーク日 取引数量	決済金額 (1営業日平均)	個別行ネット 決済額ピーク	
					最大 受超過	最大 払超過
年	( ) ( ) ( )	( ) ( ) ( )		( ) ( ) ( )		
月	( ) ( )	( ) ( )		( ) ( )		

注1) 東京金融取引所調べ。

注2) 東京金融先物の取引数量、建玉数量は、ユーロ円3ヵ月金利先物の計数。

注3) 契約単位は1億円を1単位とする。







8. 証券保管振替機構

8-1 短期社債決済（片道ベース、1営業日平均）

(件数)

—— 件、括弧内は前年比%

	引受		振替		償還		買入消却	日銀当預 DVP決済
		うちDVP		うちDVP		うちDVP		
年								( ) ( ) ( )
月								( ) ( )

(金額)

—— 億円、括弧内は前年比%

	引受		振替		償還		買入消却	日銀当預 DVP決済
		うちDVP		うちDVP		うちDVP		
年								( ) ( ) ( )
月								( ) ( )

注) 証券保管振替機構調べ。

8-2 一般債決済（片道ベース、1営業日平均）

(件数)

—— 件、括弧内は前年比%

	引受		振替		償還		買入消却	日銀当預 DVP決済
		うちDVP		うちDVP		うちDVP		
年								( ) ( ) ( )
月								( ) ( )

(金額)

—— 億円、括弧内は前年比%

	引受		振替		償還		買入消却	日銀当預 DVP決済
		うちDVP		うちDVP		うちDVP		
年								( ) ( ) ( )
月								( ) ( )

- 注1) 証券保管振替機構調べ。
- 注2) 上記件数・金額は、円貨で発行された債券（デュアルカレンシー債等を含む）に限る。
- 注3) ファクターの減少に伴う定時償還（一部繰上償還を含む）が行われた銘柄については、当該銘柄が満期償還を迎えた際に「償還」の項目に計上。
- 注4) 定時償還（同上）銘柄については、実質金額（振替口座簿に記録された金額にファクターを乗じて得た金額）ではなく、各社債の金額を計上。



